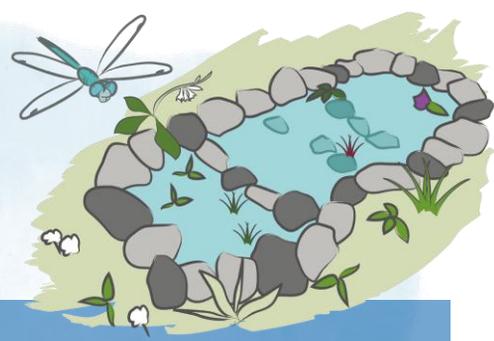


加賀電子ビオトープ NEWS

- 第6号 - 2024年10月の調査報告



* TOPIC *



成虫



待望のヤンマ類!

10月21日、加賀電子ビオトープにて今年3回目の生物調査を行いました。ついに、期待していたヤンマの仲間「ギンヤンマ」の幼虫が1匹見つかりました!オスの成虫は黄緑と水色が非常に美しい種類です。来年の春から夏にかけて、見るができるかもしれません。

* 今回の調査で見つかった生きもの *



成虫



アザイトンボ

色々なサイズ



シオカラトンボ



成虫



イヌタデ

冬越しの形「ロゼット」



ミゾコウジュ

秋になって枯れ始め



ツァツワモ

7月の観察会ではあまり見られず心配していたヤゴ。水草トチカガミが水面を覆いつくしていたので、親トンボがビオトープを認識しづらく、産卵に来られていなかったのかもしれない(トンボは水面の反射で水辺を発見します)。その後の除草が功を奏したか、今回は3種類のヤゴを確認することができました。植物はすっかり秋のよそおいで、冬支度も始まっていました。

* COLUMN *



造り中のビオトープ
4段階構造が見える

ビオトープの水深と水温

加賀電子ビオトープは、生物の多様性を高めるため、池底を4段の階段構造にしています(左写真:水深約3cm~25cm)。

近年、夏はかつてない猛暑で、ビオトープの水温は最高37.5度まで上昇することもありました。しかし水草が繁茂してきたこともあって、深部ではそれほど高くないことも分かりました。これにより今後の水生生物の保護飼育(域外保全)にも希望が出てきました。新たな仲間が増えた際はお知らせしますので、楽しみにしててください。



調査・監修
NPO birth 久保田 潤一

これからも地域の自然を大切に、
人と自然がずっと仲良く暮らしていける社会を作っていきます!

発信:加賀電子(株)サステナビリティ推進部